

のかるまい 議会だより

No.191

平成24年10月24日



ゴール目指して一直線！少年サッカー大会
(ハートフルスポーツランド)

9月定例会

- 9月定例会で決まったこと 2～3
- 一般質問は5議員が行いました 5～9
- 議会活動報告 10
- 議会の動き・議長交際費 11
- 編集後記 12

決算を認定

補正予算など13議案を可決

委員長報告

全議案ともに認定・可決

古館機智男特別委員長

平成23年度軽米町歳入歳出決算等審査特別委員会に審査を付託された議案は決算の認定6件、補正予算4件の10件だった。23年度一般会計認定の案件で、総務費では今年度から実施されている軽米テ

レビの放送内容や運営の改善について、震災津波の被災地への役場職員派遣の費用負担について、民生費では特別養護老人ホームの待機者と増床計画について、又高齢者見守り配食サービスの事業の状

況など、農林水産業費では畜産振興や八戸平原開発の施設の維持管理費負担などについて論議された。土木費では小規模な道路補修等への対応について、又消防費では消防団設備の更新計画、教育費で

は中高生の海外派遣事業、英語能力検定手数料助成についても取り上げられた。議案第5号の国民健康保険特別会計決算の認定案件では一般会計からの法定外繰り入れが当初予算に計上されたのに実施

されなかったことについての質疑が集中的にあった。平成23年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定について、国民健康保険事業勘定歳入歳出決算の認定については一部反対があり、採決の結果賛成多数で2件とも認定となり、その他の議案は全会一致で可決した。

9月定例会で可決した議案

決算の認定

補正予算

第13回（9月）定例会は、9月4日から14日までの11日間の会期で開かれました。一般質問（5）9ページに掲載）は5議員が登壇し、町政執行をただしました。一般会計歳入歳出など13件が提案され、議案第1号から3号までは即決で可決、決算認定案と補正予算案は決算等審査特別委員会を設置し、審査の結果、最終本会議で報告、原案のとおり可決し、閉会しました。

平成23年度の6会計決算（3ページ表）を認定しました。

平成24年度一般会計補正予算（第2号）

平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

一般会計・国民健康保険特別会計決算に一部反対があり、討論を行いました。討論内容は4ページをご覧ください。

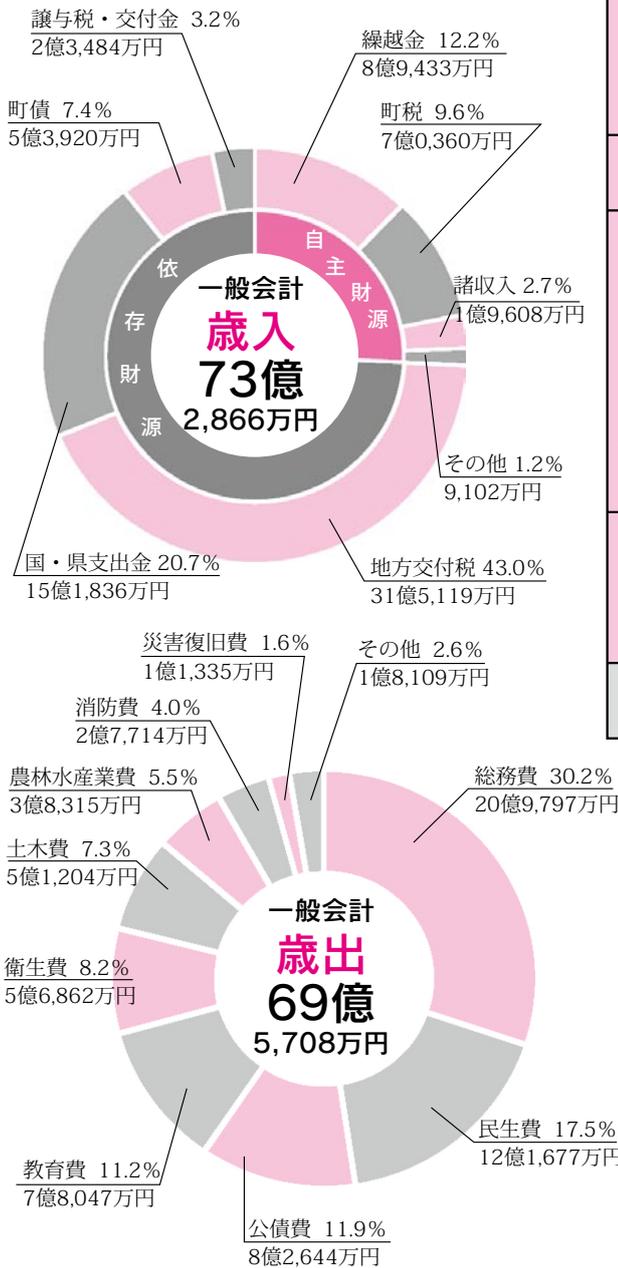
449万7千円を追加之、総額を60億6千322万円に補正しました。

2千991万1千円を追加之、総額を14億891万1千円に補正しました。

465万円などです。

主なものは後期高齢

平成23年度



会計別	決算額		
	歳入	歳出	
一般会計	73億2,866万円	69億5,708万円	
特別会計	国民健康保険	14億3,428万円	13億9,489万円
	下水道事業	1億4,389万円	1億3,783万円
	介護保険	6,751万円	6,562万円
	後期高齢者	7,931万円	7,599万円
水道事業	収益的	3億0,463万円	2億8,736万円
	資本的	1億5,083万円	2億9,756万円
合計	95億0,913万円	92億1,635万円	

※グラフと表の金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てています

者支援金1千156万円などです。

平成24年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）

605万3千円を追加し、総額を1億6千555万3千円に補正しました。

平成24年度介護保険特別会計補正予算（第1号）

4万9千円を減額し、総額を7千95万1千円に補正しました。

条例の制定

軽米町が東日本大震災の復興産業集積上に設定されたことに伴い、固定資産税の課税免除に関する条例を新たに制定しました。

条例の改正

災害対策基本法の一部改正に伴い、軽米町防災会議条例と軽米町災害対策本部条例を一部改正しました。

人事案件

教育委員会の委員の選任について

戸草内勝夫さん（向川原）を再任することに同意しました。

ここが聞きたい特別委員会

ここでは特別委員会の質疑の一部を掲載しています。

問 被災市町村への職員派遣にかかった経費は国や県から補てんされるのか。

答 全額県から補助される。

問 かるまいテレビに広告を出してはどうか。また、民間のビデオサークルなどに依頼してはどうか。

答 広告の募集については検討中である。ビデオサークルへの依頼については、映像作品の募集と合わせて検討していく。

問 プラスチックの分別収集試験の内容は。

答 ペットボトルのキャップやラベル、カップ麺の容器等

を分別収集する。10月から12月までの3か月間、町内中心部で月2回の収集を実施する予定である。今後周知や説明会を行っていく。

問 農業施設を活用した小規模水力発電を当町でも検討しては。

答 バイオマス発電と太陽光発電を検討している。小規模水力発電については今後情報収集を行う。

問 町内の特別養護老人ホームの待機者の状況は。また、当町での増床計画はあるか。

答 いちい荘の待機者は83名、うち町民は60名。現時点では増床の計画はない。

委員長報告に対し、それぞれの立場で討論しました。

反対 前田泰穂議員

国民健康保険会計決算に反対する。

賛成 松浦満雄議員

提案された全議案に賛成する。

反対 古館機智男議員

一般会計・国民健康保険会計決算に反対する。

一般会計から国保会計への繰入れは慎重に行うべきで、予算の数字合わせのための繰入れなど論外である。

さらに問題なのは、

当初予算で8千600万円もの繰入れをしているということである。繰入れをするなら医療費の見通しが立たない当初予算ではなく3月末の議会で処理するべきではないか。

提案された全議案の中で新たな施策に積極的に取り組みながら行財政改革を着実に進めている。実質単年度収支を4年間連続で黒字化し、さらに基金残高を大幅に増額させた町長の財政手腕は高く評価されるべきであり、財政運営に問題はないと考えている。

当町の国保加入世帯の10世帯に1世帯は国保税を納められず、短期保険者が交付されている。盛岡市では22年度に3千651件あった短期保険証の発行を23年度には41件に減らした。軽米町では22年度134件、23年度150件となつてい

る。国保会計は医療費の状況を見ながら補正を繰り返すもので、最終的な補正をしてもなお1億2千700万円の繰越金が出るのはおかしい。きめ細かな予算編成を望みたい。

一般会計から国保事業への繰入れは社会保険加入者との公平性を考慮して慎重に運営すべきもので、当局の財政運営は理解できる。できるだけ長く国保税の引き上げを行わないと明言している町長の姿勢を支持したい。

短期保険証は町民の命と暮らしを守る町政を望む。

いじめ問題

問 町内学校の状況は

答 6件把握、すべて解決済み

質問 ①全国的に学校でのいじめが問題となっている。当町の現状は。

②いじめへの対応・対策は。

教育長 ①今年度に学校で把握しているいじめは6件であった。いじめも調査や和解、経過観察を経て解決されている。

②毎年定期的に子供たちへのアンケート調査を実施し、県の教育委員会発行の初期対応マニュアルを参考に、いじめが認められた場合は教職員が連携し状況の把握・確認から保護者の説明までを迅速におこなう。

再質問 第三者委員会を設置する自治体が増えている。

教育長 今年度当町で発生したいじめは軽微なもので、昨年度は0であった。現時点では教職員が子供や保護者、地域などと連携して解決していくことが大事だと考えている。現時点では第三者委員会の設置や委員の構成は考えていない。

えているが、当町では設置の考えはないか。また、設置する場合、どのようなメンバー構成を考えているか。

新設する軽米小学校に子供たちと地域の人々がコミュニケーションをとれるグラウンドゴ

ルフができる場所を整備してはどうか。

教育長 学校内だけでなく地域や様々な社会教育の中であいさつの励行やコミュニケーションを深める努力をしていく。

町長 小軽米保育園で、フォリストパークで子供同士が遊ぶことでコミュニケーションを活発にする取り組みを行っている。地域やPTAと協力しながら環境づくりに努める。



茶屋 隆 議員

再質問 いじめの予防としてあいさつの励行や地域ぐるみのコミュニケーションの活性化を図ってはどうか。



子どもたちと地域のコミュニケーションを深める町民体育祭

山本 幸男 議員



- 質問** ①養鶏団地の建設予定地はフォリストパークの近くである。場所選定の経緯と理由は。
- ②養鶏団地とフォリストパークの最短距離は。
- ③養鶏団地建設による異臭、カラスの発生などによって近隣の小軽米、八木沢地区での異臭や、フォリストパークのイメージを壊すおそれはないか。
- ④鶏舎の清掃には大量の水が使用される。下流には水道の水源地があるが問題はないか。
- ⑤浄化槽、沈殿槽、沈
- 砂池のそれぞれの役割と面積は。
- ⑥死んだ鶏の保管場所の構造、面積は。
- ⑦鶏糞処理施設が建設される上館地区から説明会開催の要望があったが、対応は。また、小軽米、八木沢地区での説明会開催を要望していたがどうなっているのか。
- ⑧環境審議会には事業者も出席し、最後まで同席していたと聞いた。審議会の在り方と進め方を伺う。
- 町長 ①蛇口、上館地区への建設で事業を進

問 周辺地域への影響ないか

答 最新型の設備、心配ないと考える

養鶏団地

そのほかの質問

問 夏祭りの花火、天候のせいで見えにくかった。延期してもよかったのでは

答 準備完了後の中断は費用面も含めて難しい

問 小軽米地区の相生橋付近の町道、ガードレールか歩道の整備を

答 道路幅確保のため難しい。ガードパイプで対応

めていたが地域住民からの請願書や意見を事業者が検討した結果、現在の場所に決定したと聞いている。

②最短距離は250メートルである。

③最新型の鶏舎の設計や機械設備により臭気と埃を抑えるシステムとなっており心配はないと考えている。また、鳥インフルエンザの防疫対策にも万全を期しており、カラスの大量発生する心配もないものと考えている。

④養鶏団地全体で年間1千578トン、日量

⑦上館行政区長と事業

に於いて4・3トンの水が使用される。これは一般家庭4戸から5戸分の使用料である。浄化槽や沈砂池を経由して川に流れ込むため、水源地への影響はないものと思われる。

⑤浄化槽は7人槽を使用し、洗浄水を浄化する。沈砂池は雨水による土砂の流出を防ぐもので容量約600立方メートルである。沈殿槽は整備しない。

⑥蓋付きの箱にストックし、処理業者が毎日回収する。

⑧事業者の説明のち委員から質問いただきながら審議し、環境保全全般における影響は特になんという意見でまとまった。結論を出す段階まで事業者が同席していたことは配慮が足りなかつたと考えており、今後は十分に注意しながら対応していく。

町民生活課長

認知症対策

問 町の認知症高齢者対策は

答 支援者養成、介護教室を開催

質問 ①町内の認知症高齢者の人数は。

②認知症高齢者の課題と施策は。

③国は認知症施策5か年計画を策定し、来年度から在宅ケアを柱とした施策を実施しているとされているが内容は。

健康福祉課長 ①実数の把握は困難である。介護認定を受けている方については、自立度

2A（これまでできていたことにミスが目立つようになってきた状態）より重度の方は

257人で、65歳以上人口の7・7%にあたる。

②高齢化率の上昇に伴う認知症高齢者の増加は避けられず、支援体制の整備が課題となる。認知症の正しい理解を広めるため、地域で認知症高齢者を支援

する認知症サポーターの養成と、その講師役となるキャラバンメイトの養成をおこなっている。また、併せて家族介護教室を開催している。

そのほか、児童生徒が認知症について学び、家庭や地域内で支援者となることを目的に、孫による認知症講座を軽米小学校で開催した。

③施策の目玉は発症間もないころから高齢者宅を訪問する初期集中支援チームで、発症後に早い段階から高齢者宅を訪問し対応していくものである。



前田 泰穂 議員

再質問 ①医療機関でも相談を受け付けているか。

②認知症は治らない病気という誤解が根強い。医療機関での早期受診を含めた啓蒙活動が必要ではないか。

健康福祉課長

①管内

医療機関では一戸病院に物忘れ外来窓口があり、認知症相談の際はそちらも紹介している。②今後も早期の発見治療の普及に努める。



孫による認知症講座（軽米小学校）

そのほかの質問

問 町内の雇用創出対策は

答 食産業の企業誘致を行ってきた。1000人規模の雇用創出を目指す

問 統廃合後の校舎の利用計画は

答 地域住民の意見を聞きながら検討する

古館 機智男 議員



質問 ①町の業務内容と責任は。補助事業なのだから、地域住民への説明会開催を事業者に要請すべきではないか。

②大雨による沢の崩壊や、浄化機能が追い付かず汚水が流出する懸念があるが、対策は。
③過密なブローラー建設によって鳥インフルエンザ発生への心配はないか。

④養鶏団地建設にあたって環境アセスメント（環境に与える影響の事前調査）実施の考えはないか。

⑤町の産業振興策が畜

産に偏重しているのではないか。今回の建設により観光施設であるフォリストパーク周辺の森林が伐採されるが、観光地への建設について町長の考えは。

町長 ①この交付金事業を適切に実施、完了させるため、要綱に沿った指導、監督を担っている。国の交付金を受けて行う事業の説明会は開催を法で規定されており、同様の施設整備や過去の補助事業においても説明会は開いていない。町としては説明会の開催

問 フォリストパーク周辺に建設、問題は

答 直通的な道路なし、影響はない

養鶏団地

そのほかの質問



雪谷川ダムフォリストパーク

を事業者へ要望している。
②林地開発許可の条件として、開発によって災害の発生や周辺環境が悪化するおそれがないことなどの要件がある。また、雨水は浄化槽を通さず放流されるため、大雨によって浄

化機能が低下するおそれはない。
③鳥インフルエンザは過密なブローラー施設等の建設が原因で発生するものではないが、発生した場合には大きな被害を受ける。このため、家畜飼育者に衛生対策の徹底を図り、

感染を予防していく。
④ほかの自治体の実施状況を調査したい。
⑤畜産に偏重しているとは思っていない。建設予定地はフォリストパークとの直接的なアクセス道路もなく、森林公園としての機能に影響はない。

問 いじめ問題への対策は

答 アンケートやカウンセラーによる相談などにより早期の発見、解決に努める

問 ごみゼロに向けた取り組みは

答 プラスチックの分別収集を試験的に行う

養鶏団地

問 小軽米地区で説明会開催を
答 開催要望は事業者に伝えている

質問 ①小軽米地区で

養鶏団地建設についての説明会は開催しないのか。

②事業者は公害の心配

は一切ないと説明していたが、万一の場合の対応は。また、事業者にその能力がない場合、町が責任を取るのか。

③公害対策が適切にな

されているか、定期的に立ち入り調査をするべきでは。
④施設からの排水が沢に流れ込み、沢の崩壊や洗掘が予想されるが対策は。
⑤養鶏団地整備により固定資産税収入はどの程度増加するか。
⑥当初設置予定だった沈澱池がなくなったと聞いたが、その理由は。

町長 ①説明会の開催要望については事業者

に伝えている。

②最新の設備であり、心配はないものと考えている。また、公害防止協定の順守等により公害を発生させないよう指導していく。

③施設が完成した際に検査をするが、その後の維持管理については調査しない。既存の養鶏場においても個々の

経営者が施設管理をしており、この施設のみ調査するのは問題があるのではないかと感じている。

④林地開発申請に当たり、沢も調査し沈砂池の規模が決定されているので危険は少ないと考えている。

⑤税額は個人情報でも

あり公表できないが、
税収増のほか雇用の拡

大、付帯する業務の増加による経済効果のほか、飼料用米を餌とするため安定的な供給先が確保され、農家の所得向上にもつながると考えている。

産業振興課長 ⑥浄化槽を設置することから、沈澱池は不要という指導があった。



6月に増子内で行われた説明会

松浦満雄 議員



そのほかの質問

問 町内誘致企業、撤退の心配はないか

答 企業を訪問し情報交換している。撤退、人員削減などの情報はない

議会活動レポート



北部町村議会研修会 地元食材による地域活性化

7月31日、北部地区町村議会議員研修会が行われました。

講演では県内自治体や産直、店舗などのコンサルティングを行う岩手志援株式会社の鈴木取締役から、これまで手掛けた事例をもとに、地元食材を活用した地域活性化のあり方が語られ、熱心に耳を傾けました。

カシオペア連邦議会 産廃処分場建設への反対を表明



7月25日、カシオペア連邦議会議員協議会の総会が行われました。

軽米町内で民間事業者が計画している産業廃棄物最終処分場の建設について、前年度の総会から言及されましたが、軽米町、軽米町議会ともに一貫して反対していることを松浦求議長が報告しました。

臨時会で決まったこと

第12回臨時会

(8月28日議決)

工事の契約

町道の工事及び軽米小学校改築に関する工事8件の請負契約を可決しました。(下段表)

工 事 名	契 約 業 者	契 約 額
町道蓮台野勘丁線歩道整備	(株)坂本組	5,964万0,000円
町道蓮台野勘丁線道路改良	(株)上柿建設	4,935万0,000円
軽米小学校校舎棟建築	(株)中館建設	7億5,652万5,000円
軽米小学校校舎棟電気設備	福岡電機(株)	1億5,815万0,000円
軽米小学校校舎棟機械設備	アクア工業(株)	1億3,178万4,450円
軽米小学校地中熱機械設備	アクア工業(株)	8,325万5,550円
軽米小学校屋内運動場棟建築	(株)下館工務店	3億5,385万0,000円
軽米小学校造成工事(変更)	(株)中館建設	1億1,322万2,550円 (239万5,050円増額)

議会の動き

議会は、定例会や臨時会のほかにもさまざまな活動を行っています。主な動きをお知らせします。

【7月】

- 1日・米田地区町民運動会
- 2日・産業建設常任委員会視察（雫石町）
- 3日・納税貯蓄組合長会議
- 9日・南部小麦打ち合わせ会
- 10日・議会報編集委員会
- 11日・岩手情報文化研究会（盛岡市）
- 12～13日・岩手県町村議会議長会政務調査会、臨時総会、研修会（一戸町）
- 18日・議会運営委員会
- 19日・主要地方道八戸大野線整備促進連絡会要望活動（久慈市・八戸市）
- 19日・住田町議会総務常任委員会視察研修対応
- 20日・老人クラブゲートボール大会



「産業建設常任委員会」（雫石町）

- 23日・県立軽米病院地域懇談会
- 24日・岩手北部広域環境組合議会議員全員協議会
- 25日・全員協議会
- 25日・カシオペア連邦議会議員協議会総会、研修会（二戸市）



「成人式」

- 26日・全国中山間地域振興対策協議会東北支部協議会情報交換会（二戸市）
- 27日・特別養護老人ホームいちい荘夏祭り
- 29日・介護老人保健施設花の里かるまい夏祭り
- 30日・二戸地区広域行政事務組合議会臨時会（二戸市）
- 30日・市町村要望
- 31日・北部地区町村議会議員研修会、交流会（一戸町）

【8月】

- 4日・晴山遺族会夏季戦没者慰霊祭
- 5日・かるまい夏祭り
- 8日・登記促進委員会
- 9～10日・町村議会夏季議員大学講座（盛岡市）
- 15日・成人式
- 21日・女性の農業委員登用に関する要望への対応
- 22～23日・岩手県町村議会議長会中央研修会（東京都）
- 26日・少年剣道大会、岩手県北ゲートボール大会
- 27日・議会運営委員会
- 27日・知事を囲む懇談会（盛岡市）
- 28日・第12回町議会臨時会、議会運営委員会
- 29日・岩手県知事への要望活動（盛岡市）

【9月】

- 4～14日・第13回町議会定例会
- 7日・全員協議会、総務・教育民生・産業建設常任委員会
- 14日・全員協議会、議会報編集委員会
- 15日・かるまい秋祭り
- 15日・敬老会
- 16日・消防演習



「かるまい秋祭り」

- 19日・いちい荘敬老会、軽米小学校建設工事安全祈願祭、全員協議会、議会運営委員会
- 20日・花の里かるまい敬老会
- 22日・畜産共進会
- 26日・岩手情報文化研究会（盛岡市）
- 28日・岩手県町村議会議長会臨時総会

議長交際費を公開します

（7月～9月まで）

議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。

各団体の総会や式典の会費などが主なものです。

詳しい内容は町のホームページに記載しています。

- お祝い（会費含む）
6件 20,000円
- その他（土産など）
3件 10,900円

未来に残したい軽米の風景②



山田の千本松 (軽米23-194-1)

ウツクシマツ型（根元から多く枝分かれしている型）の、
県内屈指の見事なアカマツです。
樹齢は推定260年で、幹回りは4メートル、
高さは17メートルに及びます。
昭和55年に町の天然記念物として指定されました。

○このコーナーでは、軽米町の文化財などを紹介していきます。

編集後記

厳冬、遅春、猛暑、急秋と、うるう年の異常気象のせいにするつもりはないのですが、老体には過酷な節の移り変わりの年でした。読んでいただいたいていますか？議会だより。市民の皆様楽しい、面白いという気持ちで読んでいただきたく「見やすく(デザイン、写真)」

読みやすく(レイアウト)わかりやすく(文章)を胸に、町民と議会との懸け橋になれませう、懸命に取り組んでまいります。

議会だよりにご意見などございましたら、事務局まで一報を！

議会報編集委員会

委員 泉山 優

議会報編集委員会

委員長

上岩 紀 男

副委員長

前田 泰 穂

委員

泉山 優

山本 幸 男

細谷地 多 門

松浦 満 雄

